

きかけはしない(はい：17.8%、どちらとも
えない：42.6%)というものであった。こ
の点については、患者会が独立独歩して運
営を行えている(支援を必要としない)状況
も考えられるが、医療機関側が患者会との
関係において一歩引いているとみることも
できる。

一方で、医療機関内の患者会が病院に協力
することとして「がん当事者として、他の
がん患者の相談に応じる」が最も多い回答
で(69.9%)、これは全回答者数の2割弱に
あたる(図5)。どのような形態で患者同士
の相談が行われているか検討する必要がある
が、患者会側からの協力・支援のあり方
として、残りの8割の支援センターにおい
ても、この点から取り組みを始めるのが妥
当であると考えられる。

医療機関内のサポートグループの活動

サポートグループの活動は約3割の医療
機関において行われており(表21)、その
85.2%において、支援センターが運営に何
らかのかかわりを持っていた。相談支援セ
ンターが今後取り組みたい活動として「新
たなサポートグループを立ち上げる」を挙
げたセンターは13.1%にすぎなかった(図
8)。現在取り組まれているサポートグル
ープの評価や、患者側のニーズの精査が必要
であると考えられる。

各医療機関における患者会、サポートグル ープの活動とその意識

医療機関内に患者会・サポートグループ
がないうえに、地域の患者会とも交流がな
いという相談支援センターは全体の20%弱
であり、8割以上のセンターではがん当事
者との何らかの活動を行っていた。しかし、
その2割のセンターにおいては、新たな患
者会と立ち上げたい(16.1%)、地域の患者
会との交流・連携を深めたい(46.4%)とい
う考えは必ずしも多くない。このように積
極的な取り組みを望まない相談支援セン
ターへの働きかけの方法や、その原因につ
いては検討の余地がある。

相談支援センターが今後取り組んでみた
い活動としては、「患者同士が話ができる
場を設置する」、「地域患者会との交流や
連携を深める」が高い割合で挙げられて
いた。患者同士が話ができる場(しゃべり場・
サロン)は各医療機関において比較的敷居
が低い活動と考えられる。現状において、
医療機関内に患者会がある場合、または、
地域の患者会としばしば交流がある場合は、
5割以上の医療機関において「患者同士が
話ができる場」が設置されていることから、
医療機関内の患者会を設立することや、地
域の患者会と交流を深めていくことがこ
のような場の設立のステップになると考えら
れる。

全般としてはがん当事者に対して一方的
に何かを依頼したり、患者同士が交流する
場の提供に関する項目への取り組みが望ま
れており、「協働」的な取り組みへの回答
は少なかった。そのなかでは、「がん情報

の発信・整理」の項目への回答が31.5%と高くなっていた。現状では、院内の患者会(n=10, 12.0%)よりも地域の患者会(n=23, 17.7%)に依頼している事例が多く、利害関係が生じにくい地域の患者会のほうが協働的な関係は築きやすい可能性がうかがわれる。患者向けパンフレットの作成や院内図書の整備支援など、患者の病い体験という資源・能力が発揮されやすい内容から協働的な取り組みを検討することが望ましいだろう。

がん当事者との活動を阻害・促進する要因については、当事者との活動の意義や重要性はほとんどの回答者に理解されていた(図9)。その中で活動を促進するためには、忙しくて時間がない、支援のための知識や技術が不足している、地域患者会の情報不足、などが問題としてあげられた。活動状況と忙しさの関係は認められないことから(表30, $\chi^2=16.3$, $df=12$, $p=0.18$)、当事者との活動を活発に行っている支援センターにおける業務整理やタイムマネジメントのありかたなど、モデルケースとして提示する必要がある。

E. まとめ

相談支援センターにおける診療圏内の患者会についての把握は、現状では十分とは言い難く、地域の患者会と交流のある相談支援センターは全体の60%弱にとどまっていた。地域の患者会の活動の情報収集から始めることが第一であると考えられる。病

院内の患者会については、4割強の医療機関においてがん関連の患者会が存在していた。

相談支援センターが今後取り組んでみたい活動は、「患者同士が話ができる場を設置する」、「地域患者会との交流や連携を深める」が高い割合で挙げられていた。医療機関内の患者会を設立することや、地域の患者会と交流を深めていくことがこのような場の設立のステップになると考えられる。当事者が関連した活動内容については、医療機関が場を提供することや、相互の講師派遣及び仲介が多くなっていた。協働的な活動を行っている医療機関は少ないが、相談支援センターとしては、「がん情報の発信・整理」を依頼したいという意見がみられ、地域の患者会を中心に患者向けパンフレットの作成や院内図書の整備支援などから始めることが推奨される。

がん当事者との活動の意義や重要性はほとんどの回答者に理解されていた。その中で活動を促進するためには、忙しくて時間がない、支援のための知識や技術が不足している、地域患者会の情報不足、などが問題としてあげられた。当事者との活動を活発に行っている支援センターにおける業務整理やタイムマネジメントのありかたについて、今後、モデルケースとして提示する必要があるだろう。医療機関内の患者会・サポートグループがない、さらに地域の患者会とも交流がないという相談支援センターは全体の20%も存在している。今後はそ

の原因の把握や、活動を開始する場合の方法や手順を研修などを通じて周知していく必要があるだろう。

F. 研究発表

研究発表は、研究者が自身の研究内容や成果を、同分野の研究者や関係者に発表し、意見を交換し、知識を共有する重要な機会である。また、研究成果を広く社会に伝えることで、社会への貢献や政策への影響を及ぼすこともできる。研究発表の方法や手順を研修などを通じて周知していく必要があるだろう。

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

知的財産権の出願・登録状況は、研究者が自身の研究成果を保護し、権利を行使するための重要なステップである。また、研究成果を広く社会に伝えることで、社会への貢献や政策への影響を及ぼすこともできる。研究発表の方法や手順を研修などを通じて周知していく必要があるだろう。

表1

		Q1性別			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	女性	249	82.5	82.5	82.5
	男性	53	17.5	17.5	100.0
	合計	302	100.0	100.0	

表1

		Q2年齢			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	20歳代	30	9.9	10.0	10.0
	30歳代	90	29.8	29.9	39.9
	40歳代	89	29.5	29.6	69.4
	50歳代	71	23.5	23.6	93.0
	60歳代	21	7.0	7.0	100.0
	合計	301	99.7	100.0	
欠損値	無回答	1	.3		
合計		302	100.0		

表2

		Q3雇用形態			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	常勤	268	88.7	88.7	88.7
	非常勤	34	11.3	11.3	100.0
	合計	302	100.0	100.0	

表3

記述統計量					
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
Q3_SQ勤務時間_週	34	17	42	31.06	6.405
有効なケースの数 (リストごと)	34				

表4

		Q4職種			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	福祉職	117	38.7	39.1	39.1
	看護職	144	47.7	48.2	87.3
	心理職	7	2.3	2.3	89.6
	事務職	24	7.9	8.0	97.7
	その他	7	2.3	2.3	100.0
	合計	299	99.0	100.0	
欠損値	9	3	1.0		
合計		302	100.0		

表5

記述統計量					
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
Q5経験年数	301	1.0	42.0	16.824	11.5646
Q6がん相談の経験年数	299	.0	27.0	3.214	3.2975
有効なケースの数 (リストごと)	299				

表6

		Q7勤務形態			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	専従	203	67.2	67.9	67.9
	専任	69	22.8	23.1	91.0
	兼任	27	8.9	9.0	100.0
	合計	299	99.0	100.0	
欠損値	9	3	1.0		
合計		302	100.0		

表7

Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	完全に把握している	17	5.6	5.6	5.6
	おおむね把握している	126	41.7	41.7	47.4
	少し把握している	138	45.7	45.7	93.0
	まったく把握していない	21	7.0	7.0	100.0
	合計	302	100.0	100.0	

表8

Q8_SQがん関連の患者会の数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	.0	32	10.6	15.6	15.6
	1.0	39	12.9	19.0	34.6
	2.0	35	11.6	17.1	51.7
	3.0	33	10.9	16.1	67.8
	4.0	24	7.9	11.7	79.5
	5.0	14	4.6	6.8	86.3
	6.0	9	3.0	4.4	90.7
	7.0	1	.3	.5	91.2
	8.0	2	.7	1.0	92.2
	9.0	2	.7	1.0	93.2
	10.0	5	1.7	2.4	95.6
	13.0	2	.7	1.0	96.6
	14.0	3	1.0	1.5	98.0
	15.0	2	.7	1.0	99.0
	27.0	1	.3	.5	99.5
	38.0	1	.3	.5	100.0
	合計	205	67.9	100.0	
欠損値	88.0	21	7.0		
	99.0	76	25.2		
	合計	97	32.1		
合計	302	100.0			

表9

Q9相談支援センターと地域の患者会との交流

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	しばしば交流がある	28	9.3	10.1	10.1
	たまに交流がある	143	47.4	51.4	61.5
	まったく交流がない	107	35.4	38.5	100.0
	合計	278	92.1	100.0	
欠損値	8	21	7.0		
	9	3	1.0		
	合計	24	7.9		
合計		302	100.0		

表10

Q10相談支援センターが患者や家族に地域の患者会の情報を提供する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ない	51	16.9	18.8	18.8
	ある	221	73.2	81.3	100.0
	合計	272	90.1	100.0	
欠損値	8	21	7.0		
	9	9	3.0		
	合計	30	9.9		
合計		302	100.0		

表11

記述統計量

	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
Q10_SQ情報提供の件数_年	208	1	80	11.17	11.239
有効なケースの数 (リストごと)	208				

表12

Q11病院から患者会への協力支援

		度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効	ある	182	60.3	68.4	68.4
	とくにない	71	23.5	26.7	95.1
	わからない	13	4.3	4.9	100.0
	合計	266	88.1	100.0	
欠損値	88.00	21	7.0		
	99.00	15	5.0		
	合計	36	11.9		
合計		302	100.0		

表13

Q12患者会から病院への協力支援

		度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効	ある	130	43.0	45.5	45.5
	とくにない	131	43.4	45.8	91.3
	わからない	25	8.3	8.7	100.0
	合計	286	94.7	100.0	
欠損値	99.00	16	5.3		
合計		302	100.0		

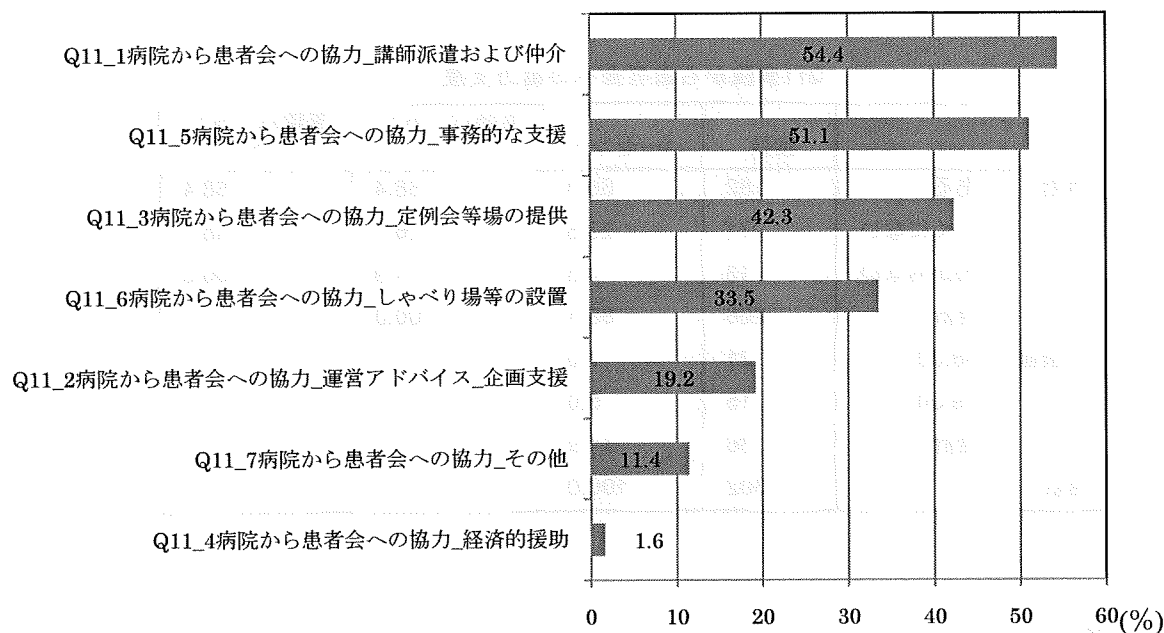


図1 医療機関が地域の患者会に協力・支援していること(N=182(M.A.))

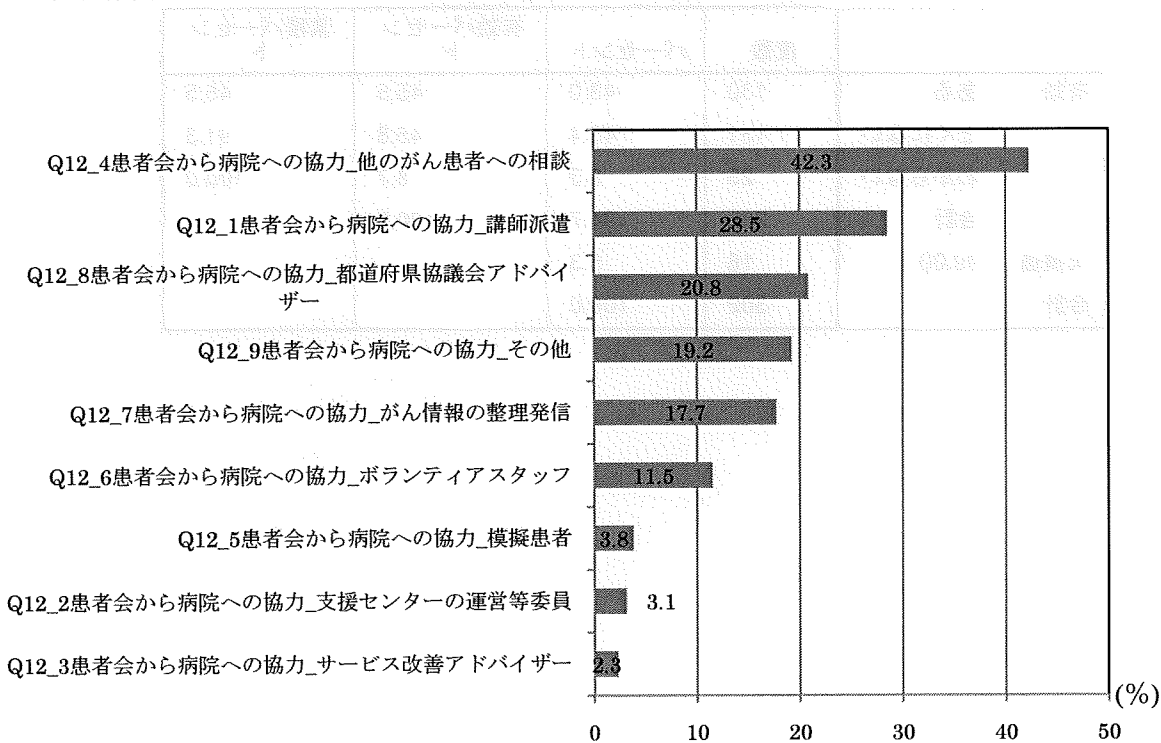


図2 地域の患者会が医療機関に協力・支援していること(N=130(M.A.))

表14

Q13医師_看護部と地域のがん患者会との交流

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ない	150	49.7	49.7	49.7
	ある	77	25.5	25.5	75.2
	わからない	75	24.8	24.8	100.0
	合計	302	100.0	100.0	

表15

Q14がん関連のイベント等の把握

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	完全に把握している	1	.3	.3	.3
	おおむね把握している	127	42.1	42.6	43.0
	少し把握している	158	52.3	53.0	96.0
	まったく把握していない	12	4.0	4.0	100.0
	合計	298	98.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	4	1.3		
合計		302	100.0		

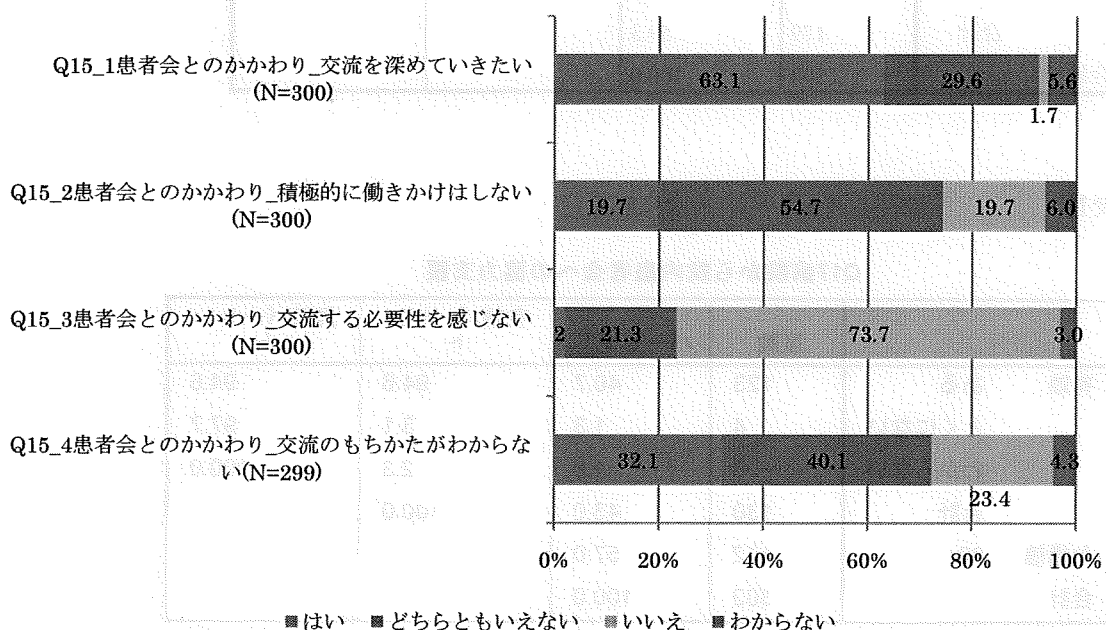


図3 地域の患者会とのかかわりにおける相談支援センターのスタンス

表16

Q16医療機関内のがん患者会の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ある	130	43.0	43.2	43.2
	ない	166	55.0	55.1	98.3
	わからない	5	1.7	1.7	100.0
	合計	301	99.7	100.0	
欠損値	9	1	.3		
合計		302	100.0		

表17

Q16_SQ医療機関内のがん患者会の数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	78	25.8	63.4	63.4
	2	34	11.3	27.6	91.1
	3	8	2.6	6.5	97.6
	4	2	.7	1.6	99.2
	5	1	.3	.8	100.0
	合計	123	40.7	100.0	
欠損値	88	172	57.0		
	99	7	2.3		
	合計	179	59.3		
合計		302	100.0		

表18

Q17病院から院内患者会への協力支援

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ある	123	40.7	94.6	94.6
	とくにない	4	1.3	3.1	97.7
	わからない	3	1.0	2.3	100.0
	合計	130	43.0	100.0	
欠損値	88	172	57.0		
合計		302	100.0		

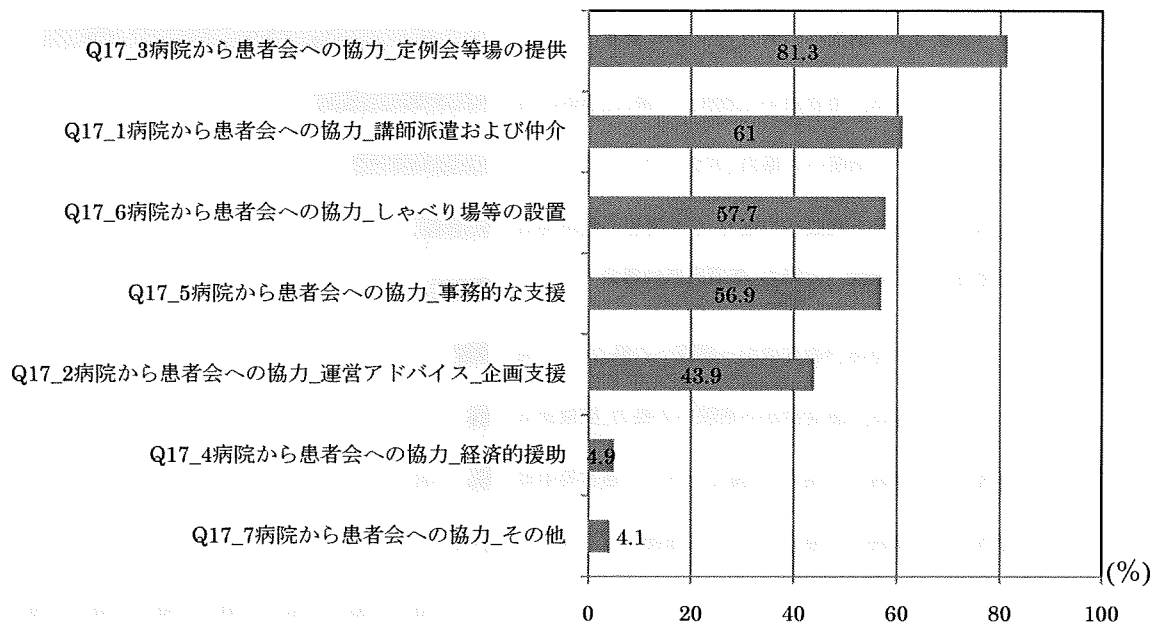


図4 医療機関が医療機関内の患者会に協力・支援していること(N=123(M.A.))

表19

Q18院内患者会から病院への協力支援

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ある	83	27.5	65.4	65.4
	とくにない	31	10.3	24.4	89.8
	わからない	13	4.3	10.2	100.0
	合計	127	42.1	100.0	
欠損値	88.00	172	57.0		
	99.00	3	1.0		
	合計	175	57.9		
合計		302	100.0		

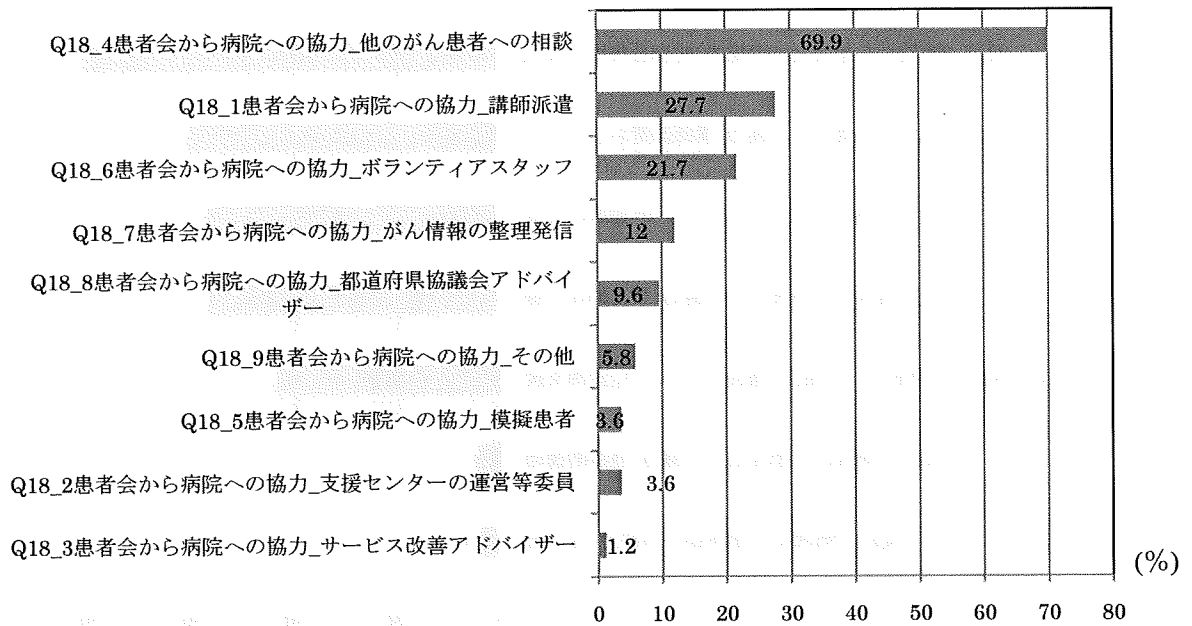


図5 医療機関内の患者会が医療機関に協力・支援していること(N=83(M.A.))

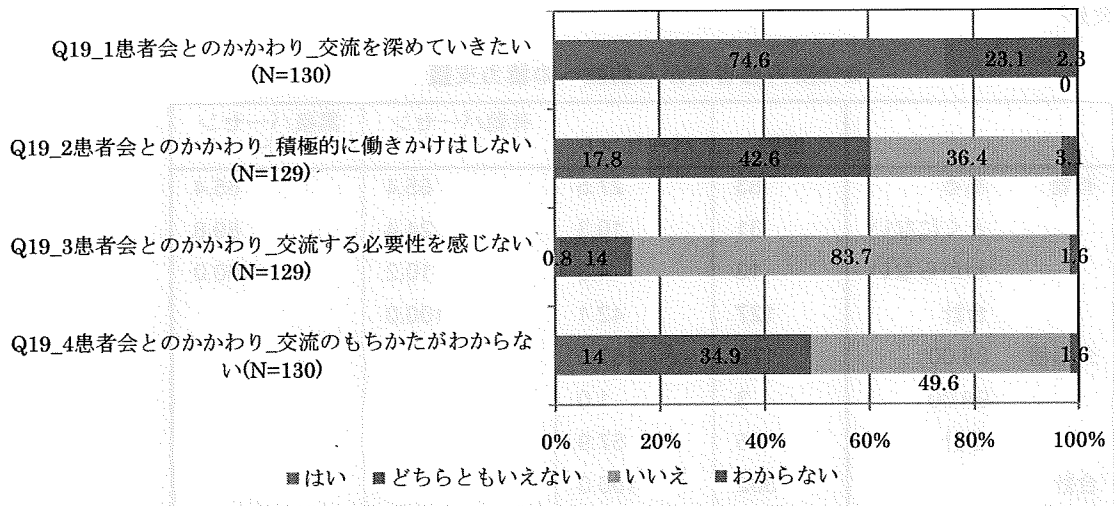


図6 医療機関内の患者会とのかかわりにおける相談支援センターのスタンス

表20

Q20サポートグループの有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ある	88	29.1	29.4	29.4
	ない	196	64.9	65.6	95.0
	わからない	15	5.0	5.0	100.0
	合計	299	99.0	100.0	
欠損値	9	3	1.0		
合計		302	100.0		

表21

Q20_SQサポートグループの数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	65	21.5	78.3	78.3
	2	13	4.3	15.7	94.0
	3	4	1.3	4.8	98.8
	4	1	.3	1.2	100.0
	合計	83	27.5	100.0	
欠損値	15	1	.3		
	88	214	70.9		
	99	4	1.3		
	合計	219	72.5		
合計		302	100.0		

表22

Q20_1_2活動の頻度_年

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	5	1.7	6.0	6.0
	2	5	1.7	6.0	12.0
	3	8	2.6	9.6	21.7
	4	11	3.6	13.3	34.9
	5	2	.7	2.4	37.3
	6	8	2.6	9.6	47.0
	8	1	.3	1.2	48.2
	10	5	1.7	6.0	54.2
	12	21	7.0	25.3	79.5
	18	1	.3	1.2	80.7
	24	4	1.3	4.8	85.5
	25	2	.7	2.4	88.0
	26	1	.3	1.2	89.2
	40	1	.3	1.2	90.4
	45	1	.3	1.2	91.6
	48	2	.7	2.4	94.0
	50	4	1.3	4.8	98.8
60	1	.3	1.2	100.0	
	合計	83	27.5	100.0	
欠損値	888	214	70.9		
	999	5	1.7		
	合計	219	72.5		
合計		302	100.0		

表23

Q20_1_3参加者数_医療者含む_回

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	3	2	.7	2.4	2.4
	4	1	.3	1.2	3.7
	5	3	1.0	3.7	7.3
	6	2	.7	2.4	9.8
	7	3	1.0	3.7	13.4
	8	5	1.7	6.1	19.5
	10	22	7.3	26.8	46.3
	12	1	.3	1.2	47.6
	13	2	.7	2.4	50.0
	14	1	.3	1.2	51.2
	15	7	2.3	8.5	59.8
	17	1	.3	1.2	61.0
	18	1	.3	1.2	62.2
	20	15	5.0	18.3	80.5
	22	1	.3	1.2	81.7
	25	3	1.0	3.7	85.4
	30	3	1.0	3.7	89.0
	40	3	1.0	3.7	92.7
50	4	1.3	4.9	97.6	
70	1	.3	1.2	98.8	
80	1	.3	1.2	100.0	
	合計	82	27.2	100.0	
欠損値	888	214	70.9		
	999	6	2.0		
	合計	220	72.8		
合計		302	100.0		

表24

Q20_1_4 主導的立場にある職種_組織

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	医師	14	4.6	17.1	17.1
	看護師	37	12.3	45.1	62.2
	相談支援センターの職員	25	8.3	30.5	92.7
	その他	6	2.0	7.3	100.0
	合計	82	27.2	100.0	
欠損値	5	6	2.0		
	8	214	70.9		
	合計	220	72.8		
合計		302	100.0		

表25

Q20_1_5 センターのSGへの関与

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	運営にかかわっている	75	24.8	85.2	85.2
	運営にかかわっていない	13	4.3	14.8	100.0
	合計	88	29.1	100.0	
欠損値	8	214	70.9		
合計		302	100.0		

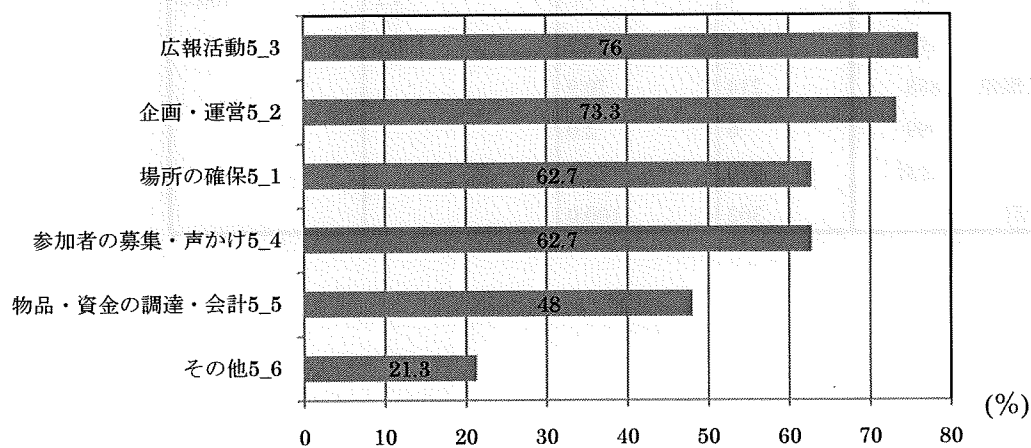


図7 サポートグループの活動における相談支援センターのかかわり(n=75)

表26

Q21_16センターが取り組みたい活動

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効 ある	294	97.4	97.4	97.4
とくにない	8	2.6	2.6	100.0
合計	302	100.0	100.0	

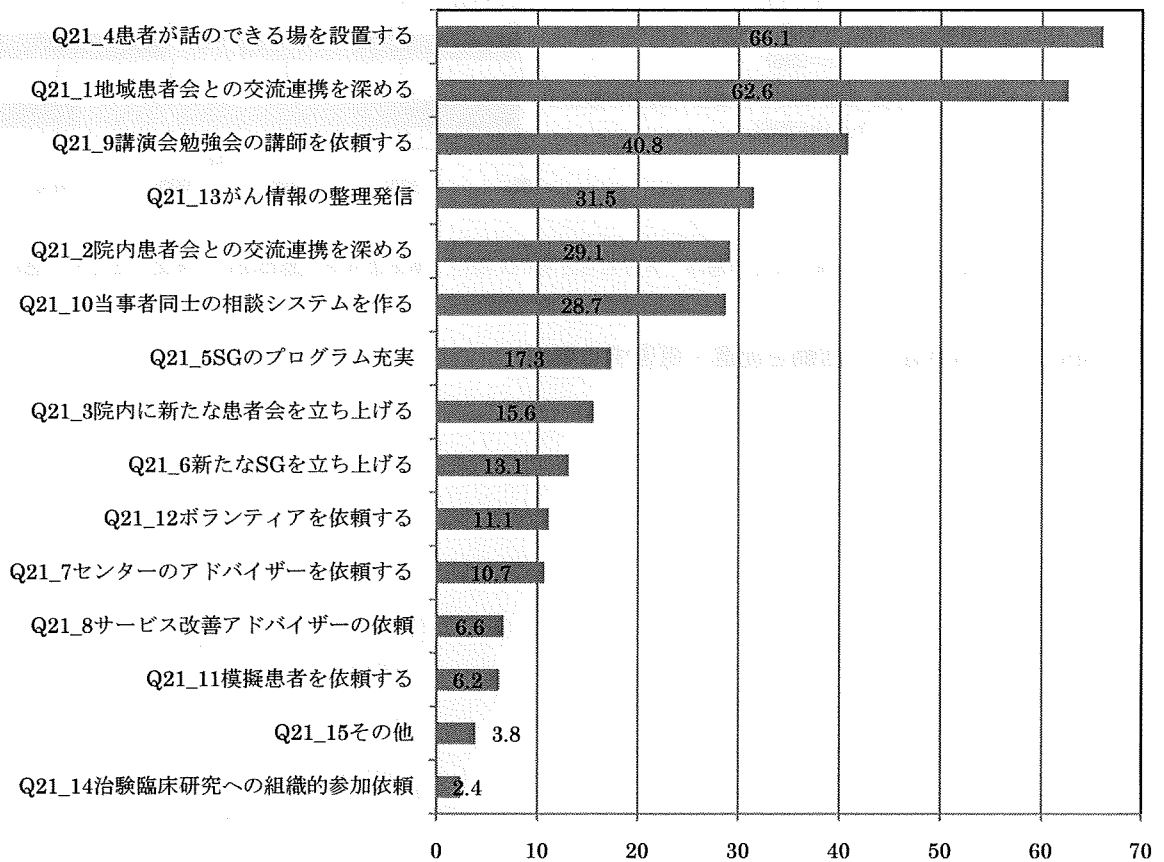


図8 相談支援センターががん当事者との活動で今度取り組んでみたい活動(n=289)

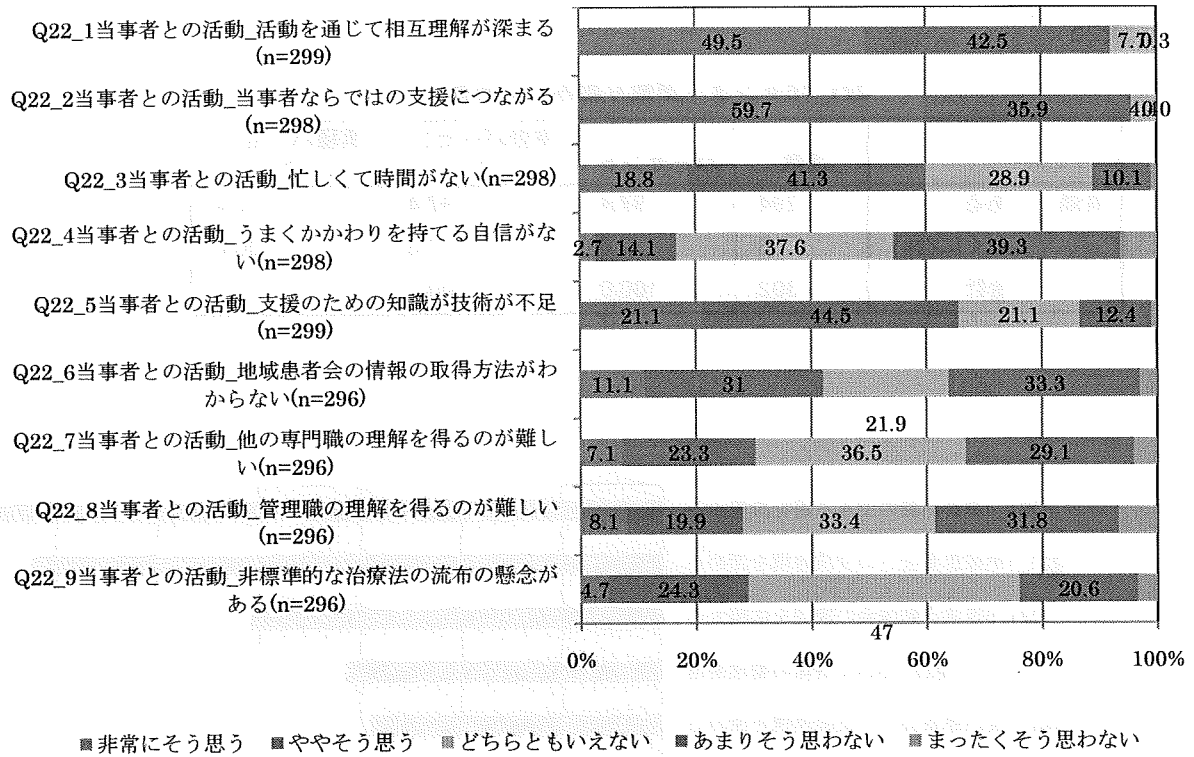


図9 がん当事者との活動を促進・阻害する要因

表27

Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握とQ22_6当事者との活動_地域患者会の情報の取得方法がわからないのクロス表

			Q22_6当事者との活動_地域患者会の情報の取得方法がわからない					合計
			非常にそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	
Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握	完全に把握している	度数	1	2	4	7	1	15
		Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	6.7%	13.3%	26.7%	46.7%	6.7%	100.0%
	おおむね把握している	度数	4	31	23	59	8	125
		Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	3.2%	24.8%	18.4%	47.2%	6.4%	100.0%
少し把握している	度数	20	52	34	32	0	138	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	14.5%	37.7%	24.6%	23.2%	.0%	100.0%	
まったく把握していない	度数	8	7	4	0	0	19	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	42.1%	36.8%	21.1%	.0%	.0%	100.0%	
合計	度数	33	92	65	98	9	297	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	11.1%	31.0%	21.9%	33.0%	3.0%	100.0%	

表28

Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握とQ14がん関連のイベント等の把握のクロス表

			Q14がん関連のイベント等の把握				合計
			完全に把握している	おおむね把握している	少し把握している	まったく把握していない	
Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握	完全に把握している	度数	1	10	5	1	17
		Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	5.9%	58.8%	29.4%	5.9%	100.0%
おおむね把握している	度数	0	72	49	4	125	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	.0%	57.6%	39.2%	3.2%	100.0%	
少し把握している	度数	0	41	91	5	137	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	.0%	29.9%	66.4%	3.6%	100.0%	
まったく把握していない	度数	0	4	13	2	19	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	.0%	21.1%	68.4%	10.5%	100.0%	
合計	度数	1	127	158	12	298	
	Q8診療圏内のがんに関連した患者会の把握の%	.3%	42.6%	53.0%	4.0%	100.0%	

表29

Q891620活動とQ22_3当事者との活動_忙しくて時間がないのクロス表

			Q22_3当事者との活動_忙しくて時間がない					合計
			非常にそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない	
Q891620活動	患者会せなし交流なし	度数	12	19	18	5	0	54
		Q891620活動の%	22.2%	35.2%	33.3%	9.3%	.0%	100.0%
患者会せあり交流なし	度数	17	23	20	9	3	72	
	Q891620活動の%	23.6%	31.9%	27.8%	12.5%	4.2%	100.0%	
患者会せなし交流あり	度数	8	29	17	6	0	60	
	Q891620活動の%	13.3%	48.3%	28.3%	10.0%	.0%	100.0%	
患者会せあり交流あり	度数	17	50	31	10	0	108	
	Q891620活動の%	15.7%	46.3%	28.7%	9.3%	.0%	100.0%	
合計	度数	54	121	86	30	3	294	
	Q891620活動の%	18.4%	41.2%	29.3%	10.2%	1.0%	100.0%	